

■ 会社情報／株式情報

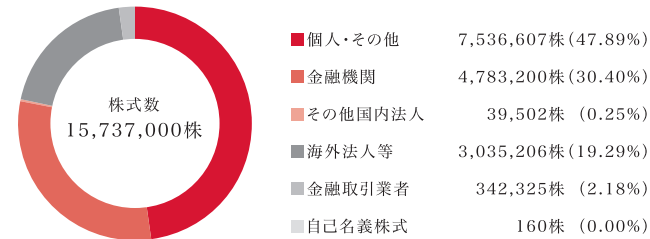
会社概要（2019年8月31日現在）			
商号	株式会社SHIFT		
代表者	代表取締役社長 丹 下 大		
本社	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル TEL:03-6809-1165		
設立	2005年9月		
資本金	3,268百万円		
事業内容	ソフトウェアテストを中心とするソフトウェアの品質保証サービス全般		
取得特許	特許第5787404号 コンピュータプログラムのテスト仕様を生成するための装置及びプログラム		

役員（2019年11月27日現在）	
代表取締役社長	丹 下 大
取締役副社長	松 尾 茂
取締役	小 林 元 也
取締役	中 垣 徹 二 郎
取締役	松 本 晃
取締役 監査等委員	三 浦 進
取締役 監査等委員	佐 々 木 道 夫
取締役 監査等委員	知 識 賢 治

(注)中垣徹二郎、松本晃、三浦進、佐々木道夫及び知識賢治は、社外取締役であります。

株式の状況（2019年8月31日現在）		
発行可能株式総数	50,000,000株	
発行済株式の総数	15,737,000株	
株主数	3,438名	
上位10名の株主		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
丹下 大	5,876,800	37.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,662,600	16.92
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	851,599	5.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	658,900	4.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	456,200	2.90
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	389,400	2.47
Draper Nexus Technology Partners, LP	261,600	1.66
BBH/SUMITOMO MITSUI TRUST(UK) LIMITED FOR SMT TRUSTEES(IRELAND) LIMITED FOR JAPAN SMALL CAP FUND CLT AC	256,000	1.63
野村信託銀行株式会社(投信口)	192,000	1.22
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	134,800	0.86

株式分布の状況



株主メモ			
事業年度	9月1日から8月31日まで	郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎年11月		〒137-8081
基準日	8月31日		新東京郵便局私書箱 第29号
剰余金の配当の基準日	8月31日及び2月28日 (閏年においては2月29日)	電話照会先	0120-232-711(フリーダイヤル)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	公告掲載方法	当社ホームページに記載しております。 https://www.shiftinc.jp/

「その常識、変えてみせる」
東証一部への市場変更、
新たなステージへ向けた
変革元年へ

ここが
ポイント！
・9年連続15倍成長に裏付けされるSHIFTの成長力と今期の飛躍
・企業成長と共に追求する社会に向けた企業価値
・SHIFTの成長に尽力する業界の見識者たち

SHIFT

BUSINESS REPORT
2019年 8月期

2018年9月1日～2019年8月31日
証券コード:3697

株主の
皆様へ

まだ見ぬ「新たな価値の創造」を目指し、
「その常識、変えてみせる」

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社2019年8月期
(2018年9月1日～2019年8月31日)のビジネスレポートをお届けいたします。



2019年8月期を振り返って

2019年8月期は、SHIFTのタグラインを「ソフトウェアテストとい
えば(SHIFT)」から「その常識、変えてみせる(SHIFT)」に変更
し、つねに自己変革に挑みつづけたことで、変化に溢れた1年と
なりました。

SHIFTの企業成長には、優秀な人材の獲得と活躍が重要な
要素であり、そのためには①IT業界でのSHIFTの認知度を
上げ、②優秀な人材が集まる(採用できる)仕組みをつくり、
③従業員数、企業規模の急拡大を支え、さらなる成長を促進
するガバナンス、基盤の体制構築が必要です。

現在掲げている、売上高300億円を目指した成長戦略
「SHIFT300」の中盤となる2019年8月期において、

- ・業界ごとの知見蓄積とシェア拡大に向けた、顧客領域の広がり
と顧客内での深耕開拓
- ・サービス付加価値向上に向けた、エンタープライズ領域での
単価アップ
- ・企業認知度の向上に向けた、はじめてのTVCM放映(マス広告)
- ・人材採用力強化に向けた、新しい採用手法(動画面接)の導入
- ・従業員とサービスのレベル向上に向けた、5年先の給料まで
見据える独自の人事評価手法の開発と導入
- ・企業価値の向上に向けた、グループ会社の新たな参画と成長
- ・企業成長を加速するM&Aに向けた、株価を下げない資金調達
(新株予約権発行による)
- ・ガバナンス強化に向けた、社外取締役3名のSHIFT参画

などは、特に大きな挑戦であったと考えています。

そして、しっかり結果を出すことができたのは、2019年8月期の
大きな成果であると自負しております。

2020年8月期の取り組み

今期は、成長戦略「SHIFT300」の最終年度として位置づけ、
売上高、顧客領域、顧客社内シェアの拡大に向け、優秀な人材
採用のさらなる加速、徹底的なKPI運用による営業の改革、
企業成長を加速させる強い販管部門の設計を行ってまいります。
また、2019年8月期に調達した資金を活用し、サービス領域の
さらなる増強と優秀な人材の獲得のためのM&Aも強力に
推進していく所存です。さらには、中長期の成長をイメージ
しながら、IT業界の構造改革にとどまらず、新たな企業価値
の柱を創造すべく、新しいビジネス領域「プラットフォーム
事業」にも着手してまいります。
今後も「品質保証」を広義にとらえ、「スマートな社会の実現」
に向けて、SHIFTらしい挑戦をつづけてまいります。

引き続き、株主の皆様にご感動を届けられるような成長を熱量
高く目指してまいりますので、ご期待いただけますよう、よろしく
お願い申し上げます。

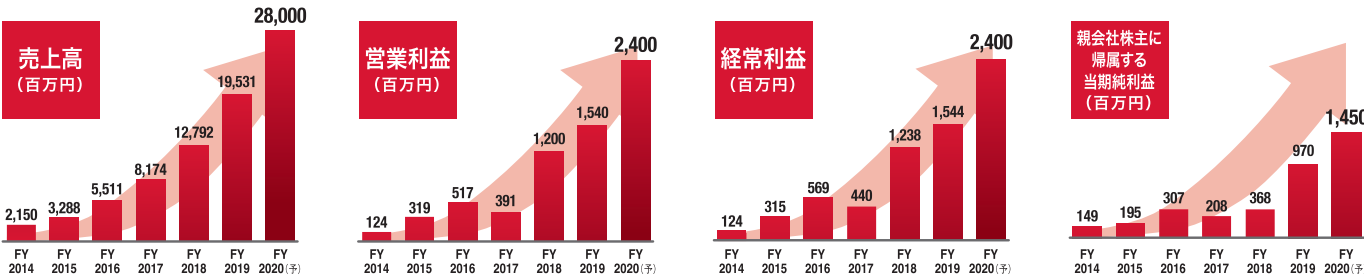
代表取締役社長 丹下 大

業績
ハイライト

ソフトウェアテスト開始以来、9期連続で売上高が1.5倍成長

FY2019は、新規顧客数、顧客あたりの受注規模が共に大幅に拡大し、新たに参画したグループ企業への
PMI*も強力に推進したことで、9期連続の売上高1.5倍成長を達成いたしました。

※PMI:Post Merger Integrationの略 M&A(企業の合併・買収)後の統合プロセスの意



■ 決算のポイント FY2019は、「SHIFT300」において定めた「アカウント」「サービス」「ブランディング」「基盤」を軸に、大幅に躍進。
主な達成事項は以下の通りです。

アカウント

顧客新領域拡大	顧客数拡大	顧客内横展開促進
保険・SAP領域売上高 7.6倍に成長 FY2018対FY2019比	平均月間取引顧客数 392社 FY2018 4Q(連結) ↓ 612社 FY2019 4Q(連結)	顧客別平均月額売上 479万円 FY2018 4Q(単体) ↓ 555万円 FY2019 4Q(単体)

ブランディング

認知度UP	人材確保力増加	人材層拡大
テレビCM、駅・タクシー広告 により 顧客・転職者・社員に浸透	動画面接や知名度UPで 115人/月 FY2018 4Q(単体) ↓ 183人/月 FY2019 4Q(単体)	年収1,000万円超の 社員割合 約5%

サービス

サービス領域拡大	エンジニア単価上昇
「 デザイン 」から 「 カスタマーサポート 」 まで一気通貫で サービス展開	平均月額エンジニア単価 629千円 FY2018 4Q(単体) ↓ 695千円 FY2019 4Q(単体)

基盤

東証一部市場変更	資金調達完了
2019年10月7日 東証一部 市場変更	新株予約権発行により 52億円 の 資金調達完了 行使期間中の株価も上昇

東京証券取引所市場第一部へ上場市場変更を行いました

2019年10月7日に、上場市場を東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所市場第一部へ変更いたしました。
これまで当社をご支援くださいました皆様の厚情の賜物であると、心より感謝申し上げます。

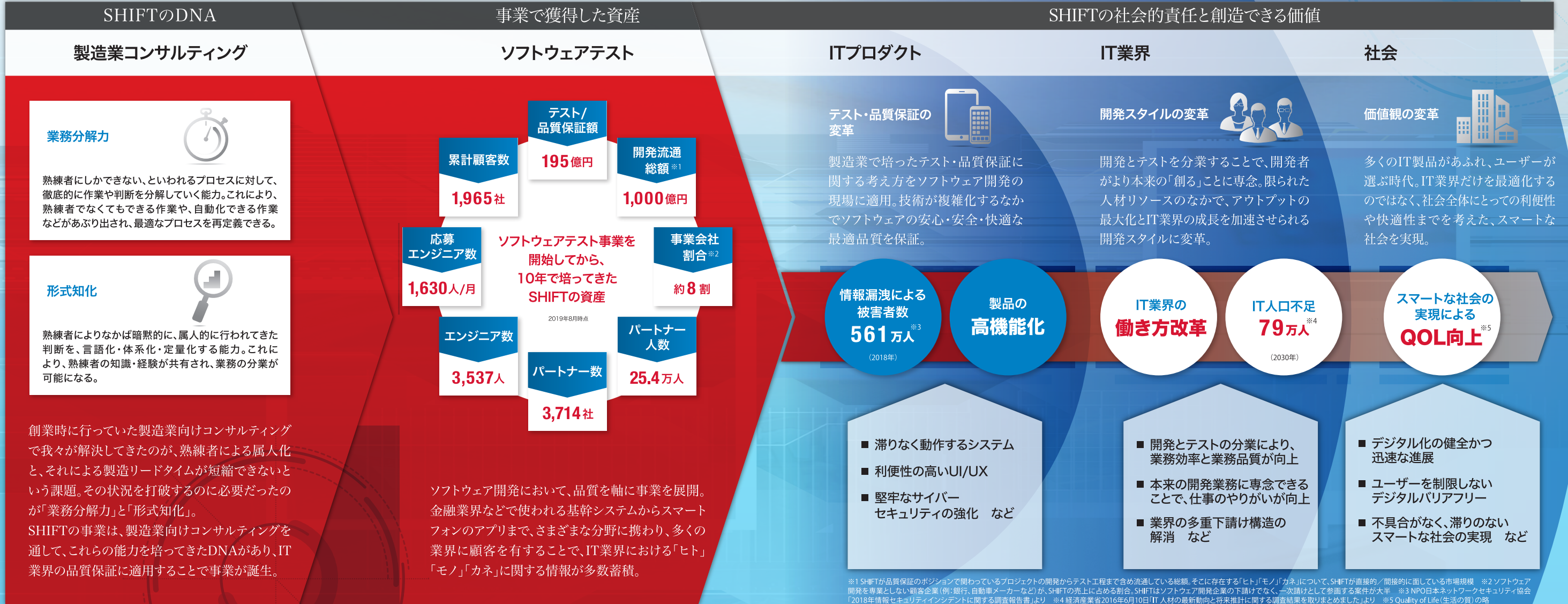
■ 2020年8月期の連結業績予想 売上高1,000億円を目指す中長期の成長に向け、採用力と営業力の強化に注力していきます。

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比
第2四半期累計	12,500	51.1%	900	86.0%	900	87.6%	520	98.7%
通期	28,000	43.4%	2,400	55.8%	2,400	55.4%	1,450	49.4%

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

SHIFTは社会インフラ企業を目指し、これまで培ってきた資産をもとに、品質の観点からITプロダクト、さらにはIT業界、社会全体に対して、変革を促すことを使命ととらえています。今後もSHIFTが数々の常識を変えていくその姿を、ぜひご支援ください。

その常識、変えてみせる。



SHIFT グループの ご紹介

グループ会社4社と孫会社1社が 新たにSHIFTグループへ参画

FY2019では、企画デザインを行う「さうなし」、UI/UXを専門とする「アッション」、金融システムの開発を得意とする「システムアイ」、CS(カスタマーサポート)を行う「SHIFT PLUS」、さらにシステム開発をメインとする「マデール」がSHIFTグループに参画いたしました。

SHIFTは「品質保証」を広義にとらえ、ソフトウェアのテストからはじまったサービスを、デザイン、コンサルティング、開発、CSにまで広げ、「ONE-SHIFT」として、お客様の新規開発プロジェクトにおける計画段階から製品リリース後の対応まで、全領域を一気通貫的にサポートできるようになってきました。SHIFTのネクストステージへ向け、今後もさらに安心、安全、快適なソフトウェアを世の中に届けていく、私たちにご期待ください。



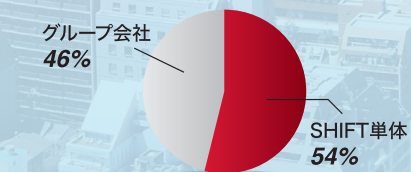
SHIFT グループを 構成する 仲間たち

2014年のマザーズ上場時から仲間が6倍に

おかげさまでSHIFTグループの仲間が4,000人近くにまで増加しました。これから「SHIFT1000」に向け、さらなる拡大をつづけてまいります。

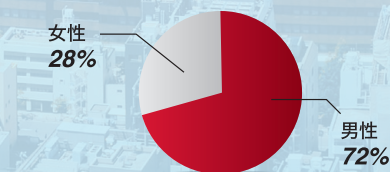
3,829人 現在(2019年8月)
622人 上場時(2014年11月)

SHIFTグループ構成比率



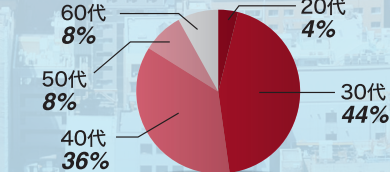
3,829人のうち、SHIFT単体の割合が54%です。グループ内の人材交流も、出向・業務委託などで活発に行っています。

男女比率



女性が活躍できる環境が整いつつあります。今後も男女問わず、優秀な人材が集まり、活躍できる環境を追求していきます。

経営層の年齢比率



グループの役員平均年齢は41歳です。20代から60代まで幅広い年代が揃い、その勢いや知識が、SHIFTグループのさらなる成長を牽引しています。

第一線で 活躍する方々が SHIFTを バックアップ

新たな社外取締役と技術顧問が就任

FY2020より、新たな社外取締役として松本晃氏を、技術顧問として川口耕介氏を迎えることとなりました。第一線で活躍する方々の強力なバックアップを受け、SHIFTはさらに成長を加速させます。



知見を活かし、充実した ガバナンス体制の構築を

社外取締役
松本 晃

RIZAPグループ株式会社 特別顧問
カルビー株式会社 元代表取締役会長兼CEO

組織力
強化

長年にわたり、商社やヘルスケア、食品とさまざまな業種において経営者を務め、それぞれの会社で儲かる仕組みの確立とガバナンス体制の充実を確実に実行し、結果を出してまいりました。SHIFTはM&Aなどで連結会社も増えており、グループの持続的な企業価値の向上には取締役会における経営の監視・監督がますます重要になります。これまでとは異なる業界において、私が培ってきた知見を十分に活かし、SHIFTのさらなる成長に尽力してまいります。

プロフィール

京大大学卒業後、伊藤忠商事に入社。関連会社の社長や、ジョンソン・エンド・ジョンソン社の社長を経て、99年にカルビー社社長、09年より会長。18年にはRIZAPグループ社に参画。経営のプロとしてグループの構造改革を実施。



社外取締役 **中垣 徹二郎**

DNX Ventures マネージングディレクター

M&A
強化



取締役 監査等委員 **佐々木 道夫**

株式会社キーエンス 元代表取締役社長

営業力
強化



取締役 監査等委員 **知識 賢治**

日本交通株式会社 代表取締役社長

人材確保力
強化



SHIFTで日本と アメリカの架け橋に

技術顧問
川口 耕介

CloudBees Chief Scientist

技術力
強化

シリコンバレーでCTOとして、会社経営に携わってきました。そのなかで、いつからか日本とアメリカに橋を架けたいという想いをもつようになりました。この役割を世界に照準を定めるSHIFTで担い、ソフトウェア産業の構造的な問題を解決するべく、技術顧問を拝命いたしました。僕の感じている世界と日本のソフトウェア開発の乖離に関する危機意識をより多くの人にもってほしい、それに刺激されて自分の仕事に意義を見出してくれるSHIFTの従業員の方が一人でも増えてほしいと思っています。

プロフィール

東京大学理学部情報科在学中に有限会社Swiftを設立。01年Sun Microsystems入社。Jenkinsの元となるCIツール「Hudson」を開発。現在は、米CloudBeesに在籍し、Chief ScientistとしてJenkinsや関連サービス・製品の発展・普及を推進。